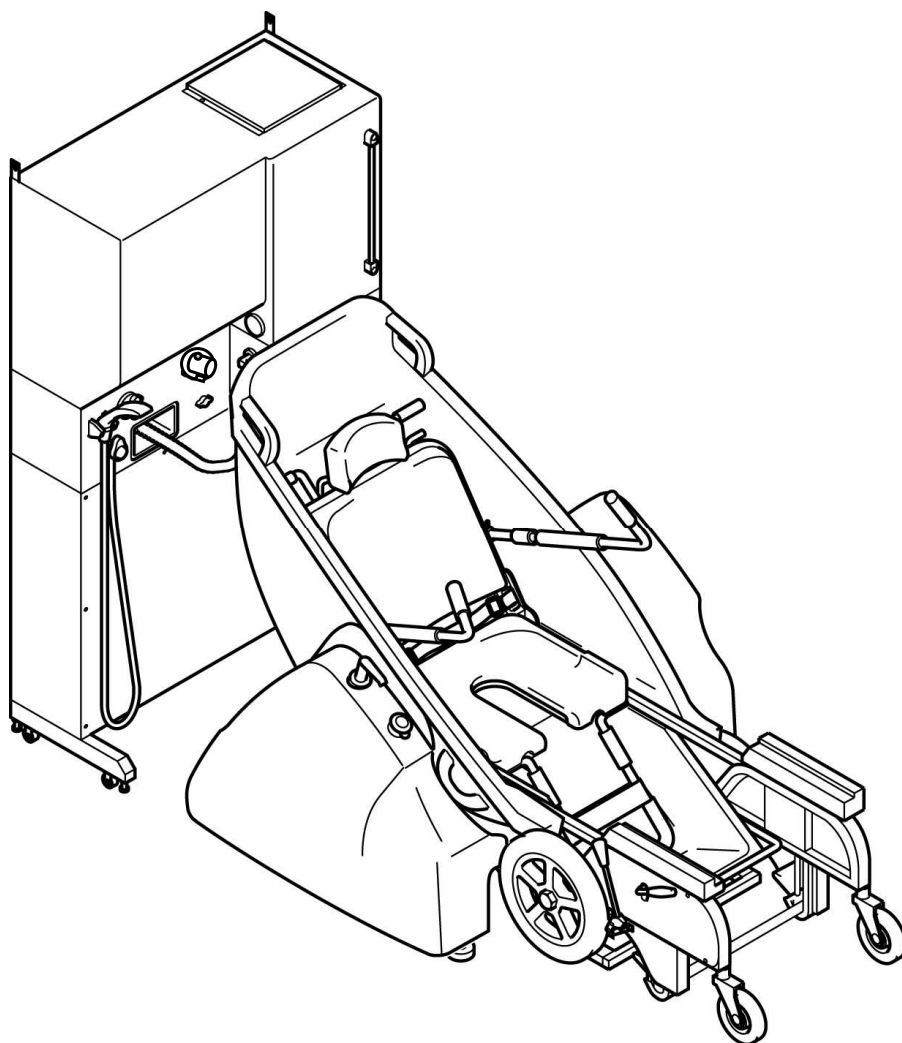


取扱説明書

ウィーラ・バス 21

Wheel-a-Bath21

本機の実行をするときは、取扱説明書に指示されている安全に関する注意事項をすべて遵守してください。

取扱説明書を紛失したり、注意シールが剥がれたり汚損した場合は、お買い上げ頂きました販売店へご連絡頂きますようお願いいたします。

はじめに

このたびは弊社の製品「ウィーラ・バス 21」をお買い上げくださりましてありがとうございました。

本書は「ウィーラ・バス 21」のお取扱いについて説明しています。

「ウィーラ・バス 21」に入浴される方の安全と快適な入浴を完全なものにするため、お使いになる前に本書を必ずお読みになり、手順、注意、点検を確実に行ってください。

なお、故障や不審な点が生じた場合は、販売会社までご連絡ください。

どうぞ末長くご愛用くださいますようお願い申し上げます。

目次

はじめに.....	1
目次.....	1
1. 安全上のご注意.....	2
2. 製品の概要.....	6
①各部の名称および機能.....	6
②製品仕様.....	12
3. ご使用方法.....	17
①ご使用前に.....	17
②ご使用方法.....	18
③ご使用後に.....	29
④水圧シリンダのエア抜きについて.....	30
4. 日常点検について.....	31
5. おかしいなと思ったら.....	32
6. 商品保証規定.....	34
①保証規定.....	34
②保証請求方法.....	34
7. アフターサービスについて.....	35
8. 移設について.....	36
9. 保守点検契約について.....	36

1. 安全上のご注意




お使いになる方や他の人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、製品を安全に正しくお使いいただくために、次に示す一般事項の表示・図記号の説明をよく理解してから、「安全のために必ず守ってください」をお読みください。

●本文中のマークおよび警告ラベルについて

安全のため、故障を防ぐため、注意しなければならない重要な項目に、次のようなマークを付けて目立つようにしています。記載事項をお守りください。

表示の説明

下の表示は製品を安全に正しくお使いいただき、人が受ける危害や損害を未然に防止するための目印です。




 危険	“誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じる可能性のあること”を示します。
 警告	“誤った取扱いをすると、人が死亡する、または重傷を負う可能性のあること”を示します。
 注意	“誤った取扱いをすると、人が傷害（※1）を負う可能性、または物的損害（※2）のみが発生する可能性のあること”を示します。

※1. 傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが、やけど、感電などをさします。


※2. 物的損害とは、機械の損傷および周辺の設備にかかわる拡大損害をさします。

図記号の説明

危害や損害を受けないために、人が行ってはいけない行為、またはなすべき行為を区別するために表示や絵文字とともに使っています。

	禁止（行ってはいけないこと）を示します。具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で指示します。
	強制（必ずすること）を示します。具体的な強制内容は、図記号の中や近くに絵や文章で指示します。
	注意を示します。具体的な注意内容は、図記号の中や近くに絵や文章で指示します。

なお、この取扱説明書では下記のシンボルマークが付いている文章にて各種機器の特長を説明しています。よく読んでいただき快適に本製品をご使用ください。

	快適な入浴を実現するための各種機器の特長を示しています。
---	------------------------------

●安全のために必ず守ってください

 警告	<p>取扱説明書をよく読み理解してから使用してください。 ※重要な注意事項が説明されています。警告指示に従わないと重大な事故につながります。</p>	
	<p>チェアユニットの先端部に荷重を掛けたり、乗ったりしないでください。 ※チェアユニットが転倒し危険です。</p>	
	<p>シャワーを使用する前や浴槽に給湯する前に、お湯の温度を確認してください。 ※火傷の恐れがあります。</p>	
	<p>操作方法を熟知した人以外は、本製品を使用しないでください。 ※誤った操作方法が原因で思わぬ事故が発生します。</p>	
	<p>チェアユニットのタイヤロックが確実にされていることを確認してください。 ※入浴者の転落につながる恐れがあります。</p>	
	<p>入浴者にシートベルトを必ず着用してください。 ※入浴者の転落につながる恐れがあります。</p>	
	<p>チェアユニットでの移動時はわき見をしないでください。 ※衝突、転落事故が発生する恐れがあります。</p>	
	<p>浴槽に給湯中は、わき見をしないでください。 ※入浴者がおぼれる恐れがあります。</p>	

●製品を使用する際の注意事項

本製品は、体が不自由で介護を必要とされる方を介護入浴させるための特殊浴槽です。本来の目的以外に使用しないでください。正常に機能する状態を維持するため、使用前、使用後の点検を必ず行ってください。

入浴者の健康状態による入浴の可否に関しては、医師または専門家の指示に従ってください。

移し替え・移動

1. 入浴者をチェアユニットへ移し替える場合、または入浴者をチェアユニットで移動させる場合は、入浴者の状態に合わせて適切な介護者数で入浴者の安全を確保してください。
2. チェアユニットへの移し替えは、入浴者の身体に無理がなく、座位が保持しやすいように座らせてください。
3. チェアユニットのヘッドレストを入浴者の頭部に合わせてください。
4. チェアユニットでの移動中は、アームレストを持ち、肘をアームレストの内側に収めるよう入浴者に指導してください。
5. アームレストを上下させる場合は、入浴者の頭や顔などに当たったり、身体を挟まないように注意してください。
6. バックレストをリクライニングさせる場合は、入浴者の状態を確認し、不快感を与えないようにゆっくりと操作をしてください。
7. 介護者は必ず両手でリクライニング操作を行い、ヘッドレスト根元での指の挟み込みに注意してください。
8. シートベルトの長さは、入浴者の体格や状態に合わせて調整してください。



注意

挿入・切り離し

1. 連結ガイドバンパは高さ調整がしてありますので手で持つなどしてずらさないでください。チェアユニットとの連結がスムーズにできなくなる可能性があります。
2. バスユニットのガイドレールとチェアユニットのガイドレールが水平で同じ高さを保っていることを確認してください。
3. フットレストを必ず最上部位置まで持ち上げ、入浴者の手や足を挟み込まない安全な状態であることを確認してください。
4. 入浴者を必ずバスユニットの一番奥までスライドさせ、フットレストを浴槽底面まで下げて前方へのスライドがロックされていることを確認してください。
5. チェアユニットをバスユニットへ挿入した後、連結解除レバーが「入る」側にあることを必ず確認してください。



入浴中

1. 入浴者の身体をシャワーで洗い始める前に排水口が開いていることを確認してください。
2. バスユニットのローリング操作は、常に入浴者の状態を確認して、入浴者を危険から守り、不快感を与えないように浴槽動作レバーでローリング速さを調整してください。
3. バスユニットのローリング操作は、周囲に人がいないことを確認してから行ってください。ローリング動作時は、浴槽および浴槽カバーから手を離してください。
4. シャワーヘッドを浴水中に沈めて使用しないでください。
5. 浴槽のローリング動作がスムーズに動作しなくなったときは、水圧シリンダのエア抜きを行ってください。(P. 30「水圧シリンダのエア抜きについて」参照)

入浴後

1. 入浴後には、入浴者とチェアユニットを拭いてください。移動時に、廊下に水滴が落ちないように十分注意してください。
2. 入浴後、排水口から完全に排水が終了するまで浴槽動作レバーを操作しないでください。

その他

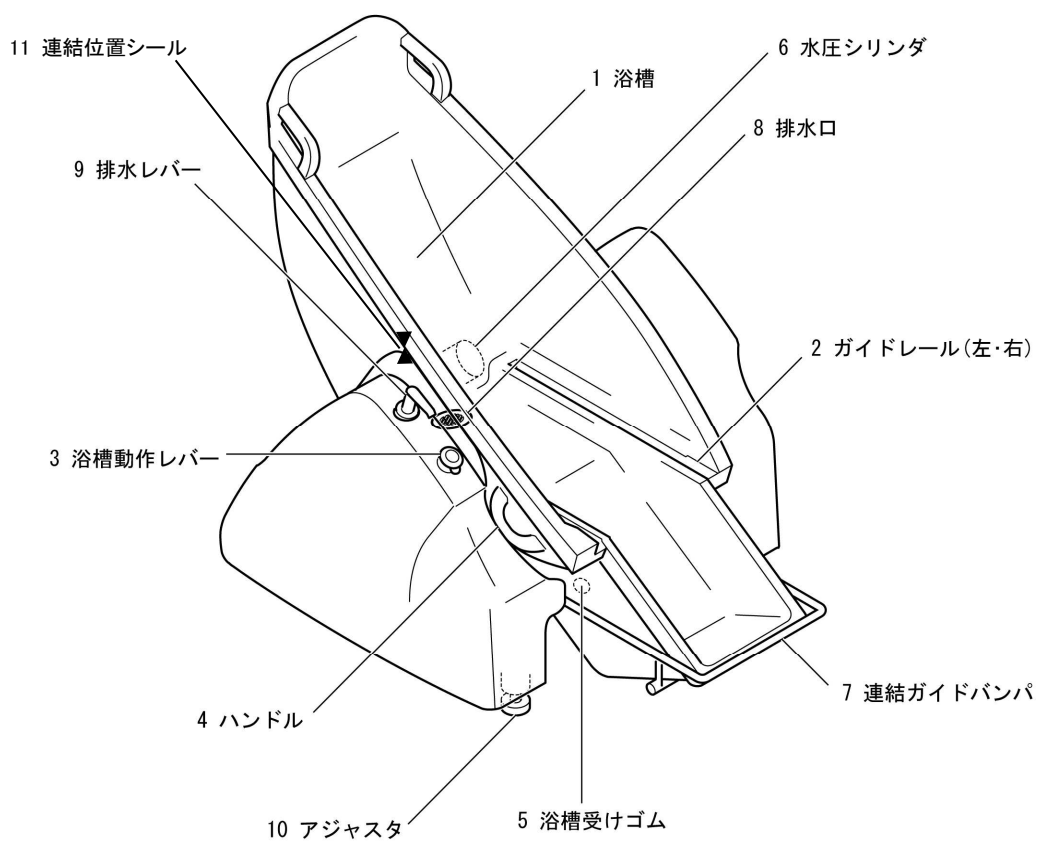
1. 貯湯タンク内に入浴剤などを入れないでください。
2. 浴室内の湿度を低下させるため、使用後は十分に換気を行ってください。
3. チェアユニット、バスユニットは常に清潔に保つようにし、定期的に殺菌消毒を行ってください。
4. ウィーラ・バスローブを使用する際は、使用前に清潔に保たれていることを確認してください。なお、感染症を患っている入浴者が着用した場合は、必ず殺菌消毒を行ってください。
5. 本製品の操作中および点検中に、故障・異常などを発見した場合は、速やかに使用を中止し、修理を行ってください。完全に修理が終わるまで使用しないでください。

2. 製品の概要

本機は、介護を必要とされる方を介護入浴させるための特殊浴槽です。
バスユニット、チェアユニット（耐荷重 90kg）および急速給湯ユニットで構成されています。

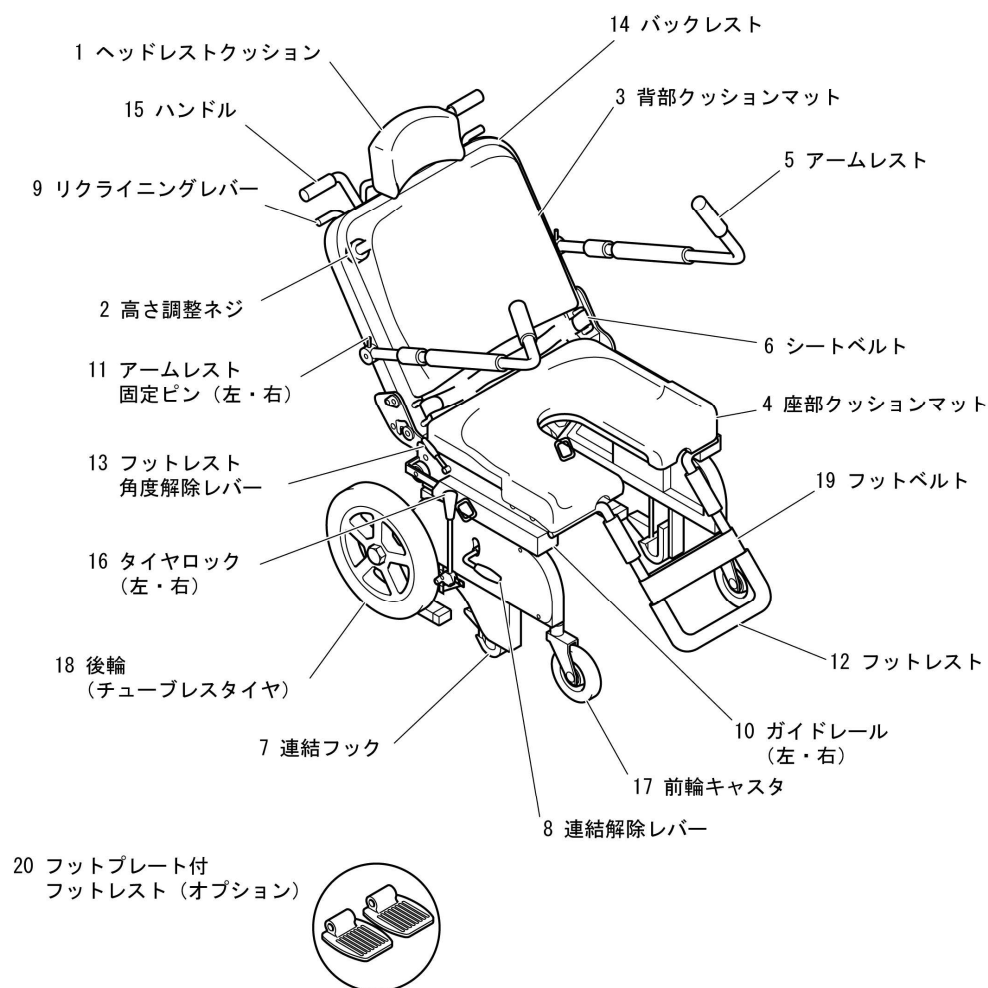
①各部の名称および機能

●バスユニット（Sタイプ/Dタイプ）



1. 浴槽
浴槽がローリングすることにより、介護者が入浴者を移し替える場合の負担を軽減します。また、入浴者に本格的な入浴を提供します。
2. ガイドレール（左・右）
入浴者のスライドイン、スライドアウトがスムーズに行えます。耐食性に優れ、強度の高い、ステンレスを採用しています。
3. 浴槽動作レバー
浴槽のローリング動作の切換に使用します。
右回転：浴槽寝る
中 ：ローリング停止
左回転：浴槽起る
4. ハンドル
排水用ゴム栓やレール用ゴム栓を掛けます。また、浴槽のローリング動作の補助をする場合に握って使用します。
5. 浴槽受けゴム
浴槽を受けるゴムです。アジャスタ機能がついています。
6. 水圧シリンダ
浴槽のローリング動作を水圧で行うことにより介護者の負担を軽減します。
7. 連結ガイドバンパ
チェアユニットを正しい位置へガイドします。
チェアユニットの連結フックが掛かりバスユニットに固定されることにより、入浴者のスライドイン・スライドアウトが安全に行えます。
8. 排水口
理想的な排水を可能にした排水口径を採用しています。3mの排水ホースが基本セットされます。
9. 排水レバー
浴槽内のお湯の排水操作が外部より楽に行えます。
10. アジャスタ
バスユニットの水平調整に使用します。
11. 連結位置シール
浴槽の連結位置を示します。
2つの三角シールの頂点が合った位置が連結位置です。

●チェアユニット



1. ヘッドレストクッション

入浴者の体格に合わせて高さの調整が自由にでき、入浴者の頭部を安定させます。

2. 高さ調整ネジ

ヘッドレストの高さを調整・固定する場合に使用します。

3. 背部クッションマット

入浴者の背・腰部をソフトに保護します。また、簡単に脱着できるため清掃・消毒をする際に便利です。

4. 座部クッションマット

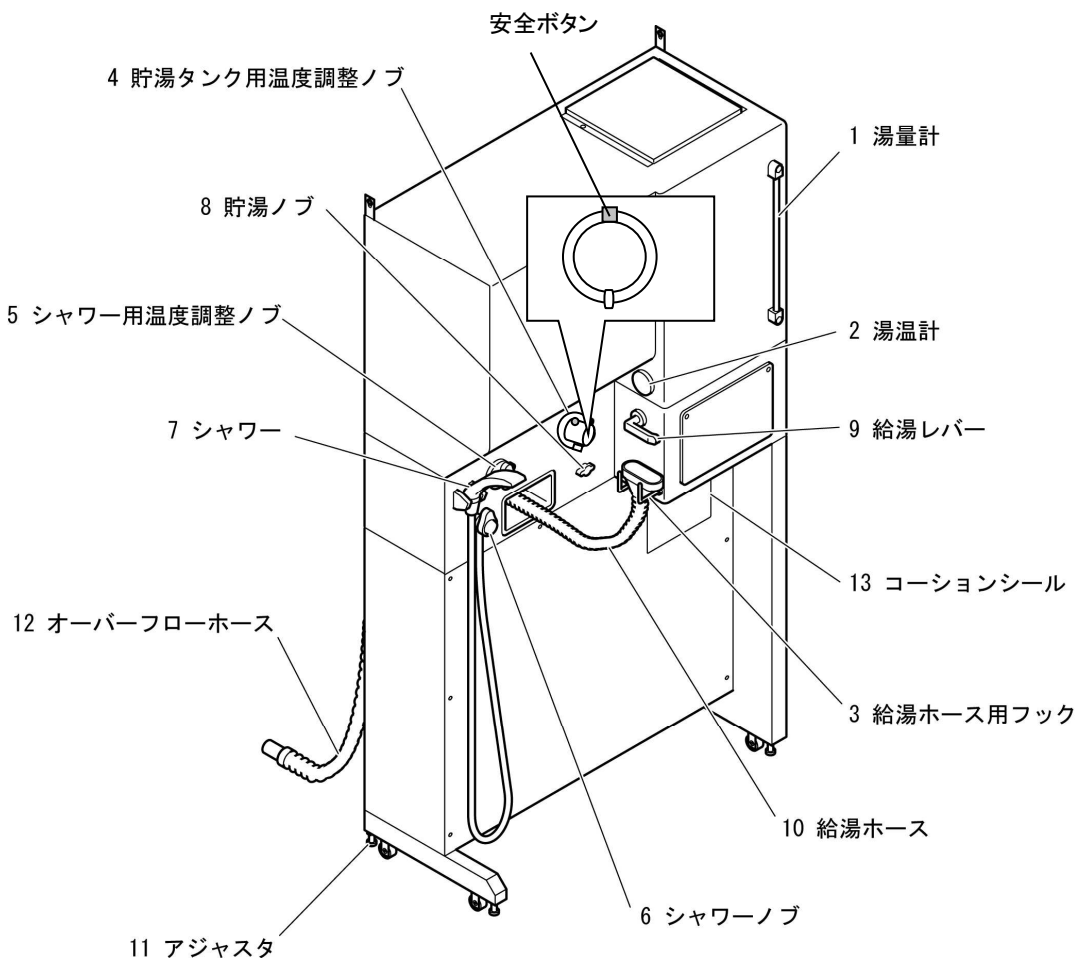
入浴者にソフトな座り心地を提供します。また、簡単に脱着できるため清掃・消毒をする際に便利です。

5. アームレスト

可倒式になっていますので、入浴者の安全を守り、移し替え作業を容易に行えます。グリップは入浴者が握りやすいようにハの字形としました。

6. シートベルト
入浴者の転落防止、入浴中の体の浮きを防止します。
7. 連結フック
バスユニットの連結ガイドバンパに掛かり、入浴者のスライドイン・スライドアウトが安全に行えます。また、チェアユニットの位置の固定をします。
8. 連結解除レバー
バスユニットの連結を解除するときに使用します。
9. リクライニングレバー
リクライニング位置を固定、解除するときに使用します。
10. ガイドレール（左・右）
チェアユニットの車輪フレーム部と椅子部はここでスライド脱着します。
11. アームレスト固定ピン（左・右）
定位置にアームレストを固定するときに使用します。
12. フットレスト
角度が入浴者の体型、状態に合わせて3段階に調整できます。
13. フットレスト角度解除レバー
フットレストの角度を解除するときに使用します。
14. バックレスト
リクライニングレバーの操作により「起る」、「寝る」の角度変更ができます。
15. ハンドル
チェアユニットの移動、バックレストのリクライニングをするときに、握って使用します。
16. タイヤロック
チェアユニットを固定するときに使用します。
17. 前輪キャスタ
チェアユニットの走行、旋回をスムーズに行います。
18. 後輪（チューブレスタイヤ）
パンクによる危険を回避し、チェアユニットの移動をスムーズに行えます。
19. フットベルト
入浴者の脚がフットレストから落ちないように受け止めます。
20. フットプレート付フットレスト（オプション）
入浴者の足をフットプレートが受けるので安心です。

●急速給湯ユニット



1. 湯量計

貯湯タンク内の湯量を示します。

2. 湯温計

貯湯タンク内の湯温を示します。

3. 給湯ホース用フック

給湯ホースを掛けるときに使用します。

4. 貯湯タンク用温度調整ノブ

貯湯タンク内に給湯する湯温を調整するときに使用します。

ノブを高温側へ回し続けると、安全ボタンが作動し回転が止まります。安全ボタン作動位置よりも高温に回す場合は、安全ボタンを押しながら回して下さい。

5. シャワー用温度調整ノブ

シャワーの湯温を調整するときに使用します。

ノブを高温側へ回し続けると、安全ボタンが作動し回転が止まります。安全ボタン作動位置よりも高温に回す場合は、安全ボタンを押しながら回して下さい。

6. シャワーノブ

シャワーからのお湯の出・止と湯量を調整するときに使用します。

7. シャワー

入浴者を洗うときに使用します。また、お湯・水の補給に使用します。

8. 貯湯ノブ

お湯を貯湯タンクへ給湯するときに使用します。

9. 給湯レバー

給湯ホースからのお湯の出・止と湯量を調節するときに使用します。

10. 給湯ホース

急速給湯ユニットからバスユニットに給湯するためのノズルです。

11. アジャスタ

急速給湯ユニットの水平調整に使用します。

12. オーバーフローホース

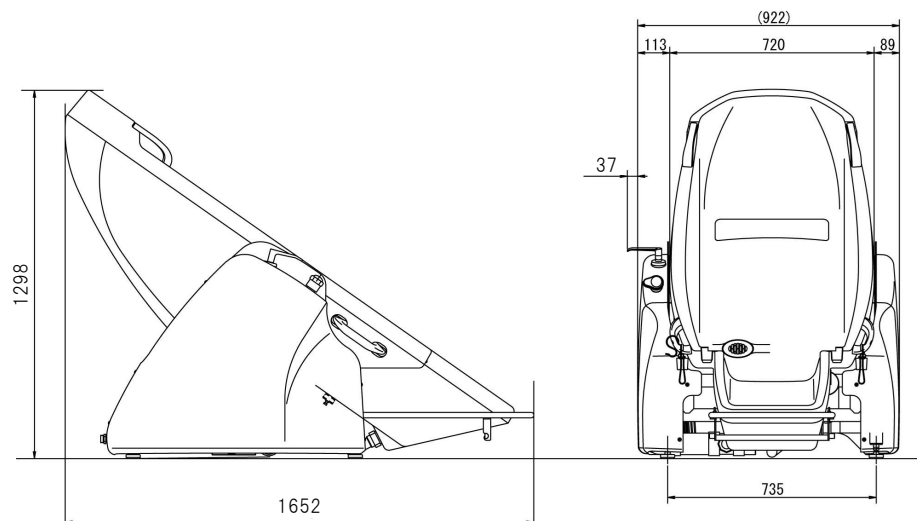
万一、貯湯タンク内に許容量以上のお湯が入った場合、このホースより排水します。

13. コーシヨンシール

本製品の警告・注意事項が示してあります。

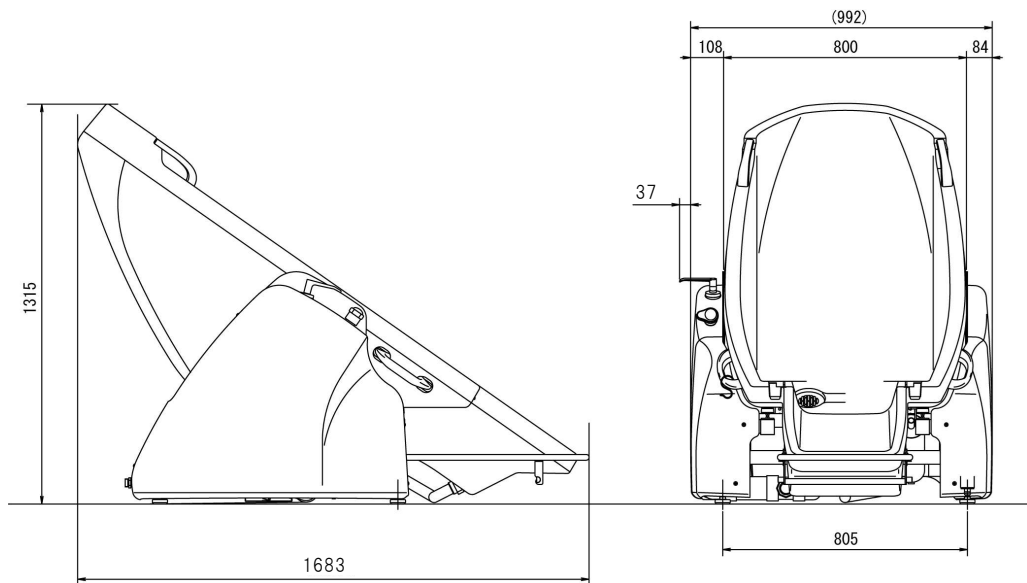
②製品仕様

●バスユニット（Sタイプ）



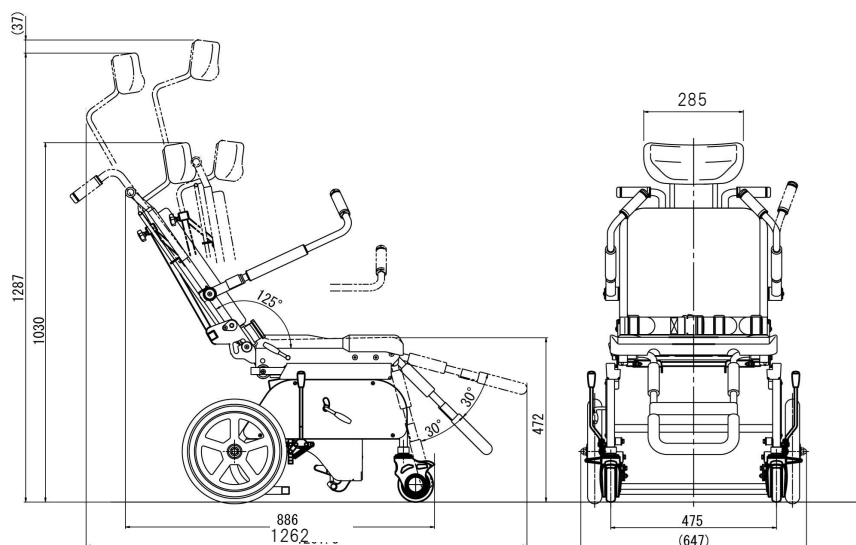
型式（MODEL）	BU16T
使用湯量	約160L
対象者	身長140～170cm（目安）、体重90kgまで
材質	浴槽・カバー/FRP フレーム・ガイドレール/ステンレス（SUS304）
外形寸法	長さ1652mm×幅922mm×高さ1298mm 長さ1896mm×幅922mm×高さ868mm（ローリング時）
浴槽内寸法	長さ1815mm×幅610mm×高さ470mm
自重	80kg
セットチェア	CU9T
排水時間	25～45秒
ローリング方式	水圧シリンダ+切換バルブ（三方弁）
必要水圧	0.15～0.30Mpa（温度：水道水温度 配管口径：20A） ※圧力変動にて0.15Mpaを下回ると負荷条件によっては浴槽のローリング上昇動作（寝る）ができなくなる場合があります。
使用場所	屋内（使用環境温度：0～45℃）
水道法	対応（耐圧性能、逆流防止性能）
その他	・前部排水用ゴム栓 ・排水目皿 ・アジャスタ ・ガイドバンパ ・ストレーナ（#60） ・チャッキ弁 ・浴槽用ストッパ付
標準付属品	・排水ホース（3m） ・ホースバンド ・レール用ゴム栓

●バスユニット（Dタイプ）



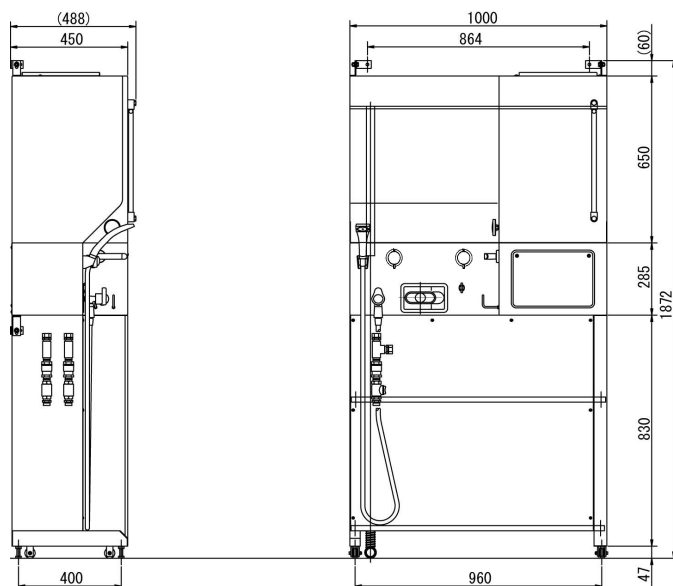
型式（MODEL）	BU20T
使用湯量	約 200L
対象者	身長 140～180cm（目安）、体重 90kg まで
材質	浴槽・カバー/FRP ----- フレーム・ガイドレール/ステンレス（SUS304）
外形寸法	長さ 1683mm × 幅 922mm × 高さ 1315mm ----- 長さ 1953mm × 幅 922mm × 高さ 873mm（ローリング時）
浴槽内寸法	長さ 1873mm × 幅 690mm × 高さ 520mm
自重	85kg
セットチェア	CU9T
排水時間	35～55 秒
ローリング方式	水圧シリンダ＋切換バルブ（三方弁）
必要水圧	0.15～0.30MPa（温度：水道水温度 配管口径：20A） ※圧力変動にて 0.15MPa を下回ると負荷条件によっては浴槽のローリング上昇動作（寝る）ができなくなる場合があります。
使用場所	屋内（使用環境温度：0～45℃）
水道法	対応（耐圧性能、逆流防止性能）
その他	・前部排水用ゴム栓 ・排水目皿 ・アジャスタ ・ガイドパンパ ・ストレーナ（#60） ・チャッキ弁 ・浴槽用ストッパ付
標準付属品	・排水ホース（3m） ・ホースバンド

●チェアユニット



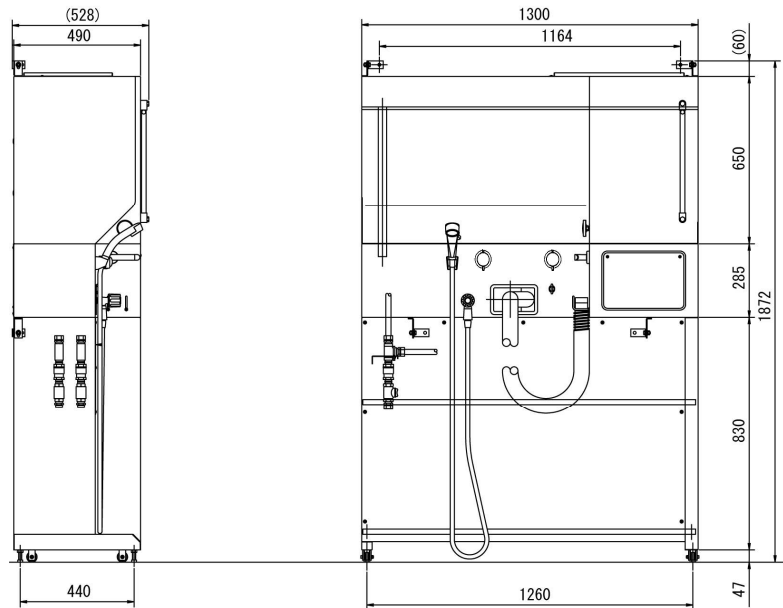
型式 (MODEL)	CU9T
対象者	身長 140~180cm (目安)、体重 90kg まで
材質	フレーム/ステンレス (SUS304) クッション/発泡ウレタン ベルト/ポリプロピレン カバー/アクリル
外形寸法	長さ 886mm × 幅 647mm × 高さ 1030mm (バックレスト角度 125° 時最小) 長さ 1262mm × 幅 647mm × 高さ 1287mm (バックレスト角度 125° 時最大)
自重	35kg
車輪	前輪: 自在キャスタ (φ100mm) 後輪: チューブレスタイヤ (φ300mm) ※連続で走行させる場合は、2km/h の速度にて 300m までを目安としてください。
セットバス	BU16T (Sタイプ) BU20T (Dタイプ)
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ヘッドレスト: 無段階高さ調整、脱着式 ・アームレスト: 可倒式 ・介護者用操作ハンドル ・バックレスト: 2ポイントリクライニング式 (100°、125°) ・フットレスト: 角度調整式 (3段階) ・シートクッション: 脱着式 ・シートベルト ・バックレストクッション: 脱着式 ・ブレーキ: 後輪ロックレバー式 ・連結フック: 自動連結、手動解除式
オプション	フットプレート付フットレスト

●急速給湯ユニット



型式 (MODEL)	KU21
材 質	ステンレス (SUS304)
外形寸法	幅 1000mm×奥行 450mm×高さ 1872mm
自 重	約 90kg
貯湯タンク容量	200L (S、Dタイプの容量調整は設置時)
貯 湯 方 式	ボールタップ方式
貯 湯 時 間	約 10分 ※給湯条件は配管 20A で 60℃、給水条件は配管 20A で 25℃にて混合湯温を 40℃に設定した場合。
給 湯 時 間	バスユニット S タイプ : 45~70 秒 バスユニット D タイプ : 55~75 秒
湯 側	配管口径: 20A 温 度: 55~75℃ 圧 力: 0.05~0.30MPa (湯側圧力 ≤ 水側圧力)
水 側	配管口径: 20A 温 度: 水道水温度 圧 力: 0.10~0.30MPa (湯側圧力 ≤ 水側圧力)
シャワー口径	13A
タンク吐出口径	50A
混合湯温度設定	約 30~45℃ ※水側および湯側の圧力が 0.05MPa 以上変動する場合は混合湯温度が不安定になります。
使 用 場 所	屋内 (使用環境温度: 0~45℃)
水 道 法	対応 (耐圧性能、逆流防止性能、吐水口空間確保)
そ の 他	・湯量計 ・温度計 (貯湯タンク用) ・シャワー ・チャッキ弁 ・シャワーミキシングバルブ ・貯湯ミキシングバルブ ・貯湯バルブ ・給湯ホース ・アジャスタ ・ストレーナ (#60)
オ プ シ ョ ン	延長給湯ホース (引出し可能長さ 1.5m、給湯ホース実長 2m) 手元ストップスイッチ付シャワーヘッド+シャワーホース (2m)

●急速給湯ユニット（ツインタイプ用）



型式 (MODEL)	KU30
材 質	ステンレス (SUS304)
外 形 寸 法	幅 1300mm×奥行 490mm×高さ 1872mm
自 重	約 110kg
貯湯タンク容量	285L
貯 湯 方 式	ボールタップ方式
貯 湯 時 間	約 14.5 分 ※給湯条件は配管 20A で 60°C、給水条件は配管 20A で 25°Cにて混合湯温を 40°Cに設定した場合。
給 湯 時 間	45~70 秒 (バスユニット S タイプ)
湯 側	配管口径 : 20A 温 度 : 55~75°C ----- 圧 力 : 0.05~0.30MPa (湯側圧力 ≤ 水側圧力)
水 側	配管口径 : 20A 温 度 : 水道水温度 ----- 圧 力 : 0.10~0.30MPa (湯側圧力 ≤ 水側圧力)
シャワー口径	13A
タンク吐出口径	50A
混合湯温度設定	約 30~45°C ※水側および湯側の圧力が 0.05MPa 以上変動する場合は混合湯温度が不安定になります。
使 用 場 所	屋内 (使用環境温度 : 0~45°C)
水 道 法	対応 (耐圧性能、逆流防止性能、吐水口空間確保)
そ の 他	<ul style="list-style-type: none"> ・湯量計 ・温度計 (貯湯タンク用) ・シャワー ・チャッキ弁 ・シャワーミキシングバルブ ・貯湯ミキシングバルブ ・貯湯バルブ ・給湯ホース ・アジャスタ ・ストレーナ (#60)

3. ご使用方法

① ご使用前に

本製品をご使用される前に、必ず下記の操作を行ってください。

● 急速給湯ユニット

- 1) 給湯レバーが閉じていることを確認し、急速給湯ユニットに接続されている一次側の給水・給湯バルブを開いてください。
- 2) 貯湯ノブが開いていることを確認してください。
- 3) 貯湯タンクに給湯されることを湯量計にて確認してください。また、湯温計の表示を見て貯湯タンク用温度調整ノブで適温に調整してください。
ノブを高温側へ回し続けると、安全ボタンが作動し回転が止まります。安全ボタン作動位置よりも高温に回す場合は、安全ボタンを押しながら回して下さい。
- 4) 貯湯タンクが満水になると、給湯は自動的に停止します。
給湯が停止しましたら、一度排水をし、再度給湯されるか確認した後に使用してください。

● バスユニット

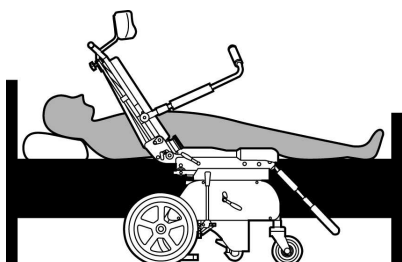
- 1) 浴槽動作レバーが停止位置（中）にあることを確認し、バスユニットに接続されている一次側の給水バルブを開いてください。
- 2) 浴槽動作レバーを「寝る」側（右回転）に操作して、浴槽が入浴位置となる方向へスムーズなローリング動作を行うか確認してください。
- 3) 浴槽動作レバーを「起る」側（左回転）に操作して、浴槽がチェアユニットとの連結位置となる方向へスムーズなローリング動作を行うか確認してください。
- 4) 浴槽がローリング動作を行っている途中で、浴槽動作レバーを停止位置（中）に戻すと、浴槽のローリング動作が停止することを確認してください。
- 5) 浴槽をチェアユニットとの連結位置に戻した後に使用してください。

②ご使用方法

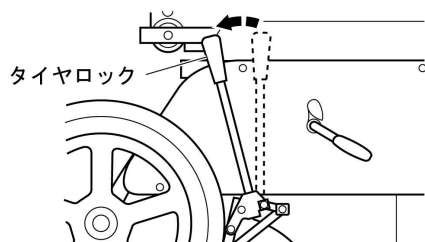
まず「ご使用前に」の操作が完了したことを確認した後、以下の手順に従って操作を行ってください。


1. チェアユニットへの移し替え

1) 介護者は入浴者のベッドサイドまでチェアユニットを移動します。

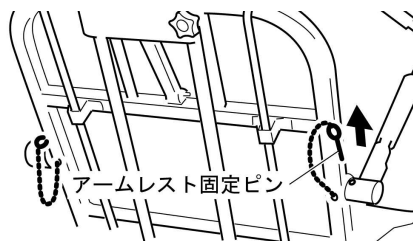


2) チェアユニットが不意に移動しないように、左右のタイヤロックでロックします。




 警告	タイヤロックが確実にされていることを確認してください。入浴者の転落につながる恐れがあります。
--	--

3) 左右のアームレスト固定ピンを外します。



4) アームレストを上げます。



 注意	アームレストを上下させる場合は、入浴者の頭や顔などに当たったり、身体を挟まないように注意して行ってください。
---	--

5) シートベルトのバックルを外し、チェアユニットの両側に分けます。

6) 入浴者をチェアユニットに移します。



警告

チェアユニットの先端部に荷重を掛けたり、乗ったりしないでください。
チェアユニットが転倒し危険です。



注意

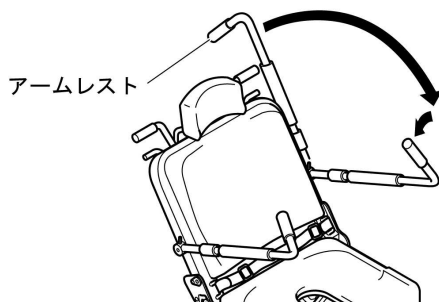
入浴者をチェアユニットへ移し替える場合は、入浴者の状態に合わせて適切な介護者数で入浴者の安全を確保してください。



注意

入浴者の身体に無理がなく、また、座位が保持しやすいように座らせてください。

7) 左右のアームレストを元の位置に戻し、アームレスト固定ピンで再び固定します。



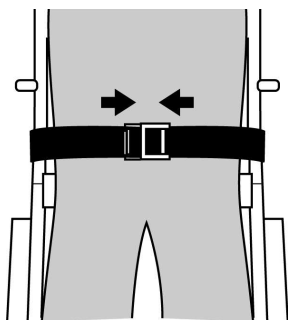
注意

アームレストを上下させる場合は、入浴者の頭や顔などに当てたり、身体を挟まないように注意して行ってください。



アームレストのグリップは入浴者が握りやすいようハの字形になっています。

8) シートベルトを締めます。



警告

チェアユニットでの移動時は、入浴者がシートベルトを必ず着用していることを確認してください。
入浴者の転落につながる恐れがあります。

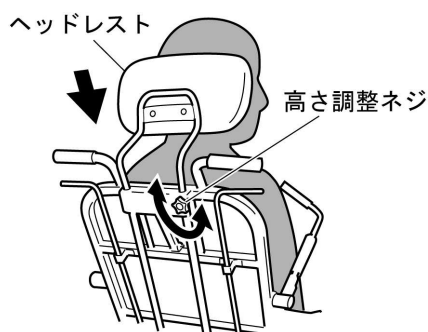



注意


シートベルトの長さは、入浴者の体格や状態に合わせて調整してください。

9) ヘッドレストの高さを調整します。

高さ調整ネジをゆるめるとヘッドレストは上下へスライドします。入浴者の頭部にヘッドレストクッションを合わせ、高さ調整ネジを締めます。



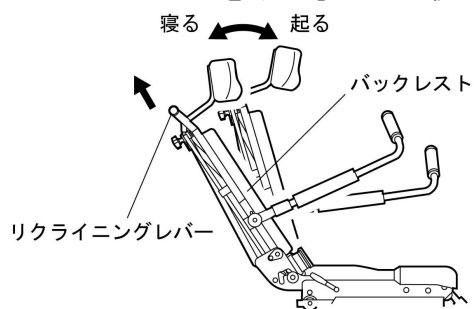
 注意	チェアユニットのヘッドレストを入浴者の頭部位置に合わせてください。
---	-----------------------------------


	ヘッドレストの高さが調整できることにより、入浴者の頭部を快適な位置で安定させ、保持することができます。
---	---


10) 入浴者の状態に合うようにバックレストのリクライニング位置を調整します。


リクライニングレバーを引くとバックレストの固定が解除され、リクライニング動作が行えます。

バックレストを「起る」または「寝る」位置までリクライニングさせます。

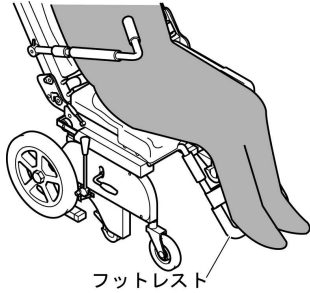


 注意	バックレストをリクライニングさせる場合は、入浴者の状態を確認し、不快感を与えないようにゆっくりと操作してください。
--	---

 注意	介護者は必ず両手でリクライニング操作を行い、ヘッドレスト根元での指の挟み込みに注意してください。
---	--

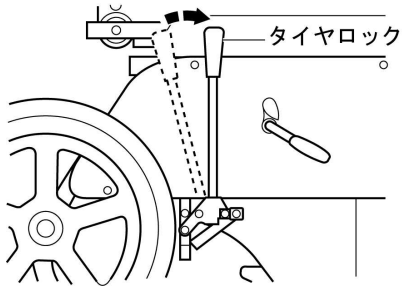
	バックレストは入浴者への介護作業が行いやすいように「起る」「寝る」の角度変更ができます。
---	--

11) 入浴者の状態に合うようにフットレストの角度を調整します。



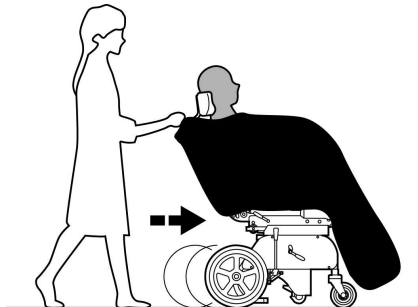
フットレストは入浴者のリラックスした姿勢を保持できるように角度が調整できます。

12) タイヤロックを解除し、移動できる状態にします。



2. 浴室への移動

1) チェアユニットのハンドルを持ち、入浴者を浴室に移動させます。



警告

チェアユニットでの移動時はわき見をしないでください。衝突・転落事故が発生する恐れがあります



警告

チェアユニットで移動する場合は、入浴者にシートベルトを必ず着用してください。入浴者の転落につながる恐れがあります。



注意

入浴者をチェアユニットで移動させる場合は、入浴者の状態に合わせて適切な介護者数で入浴者の安全を確保してください。





注意

チェアユニットでの移動中は、アームレストを持ち、肘をアームレストの内側に収めるよう入浴者に指導してください。

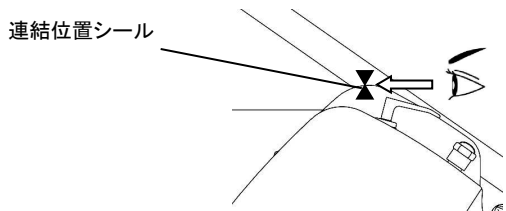
3. バスユニットとチェアユニットの連結

1) バックレストを「寝る」の位置にし、フットレストを最上部位置まで持ち上げます。

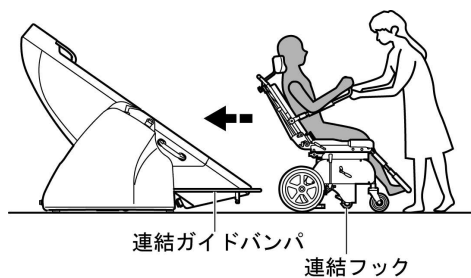
 注意	介護者は必ず両手でリクライニング操作を行い、ヘッドレスト根元での指の挟み込みに注意してください。
---	--


 注意	バックレストをリクライニングさせる場合は、入浴者の状態を確認し、不快感を与えないようにゆっくりと操作してください。
---	---


2) 連結位置シールにて、浴槽が連結位置にあることを確認して下さい。
2つの三角シールの頂点が合った位置が連結位置です。




3) 入浴者の正面からチェアユニットをバスユニットの連結ガイドバンパに沿って挿入し、入浴者に衝撃を与えないよう静かに押し込みます。
チェアユニットの連結フックが連結ガイドバンパに掛かり、浴槽へのスライドインが可能になります。

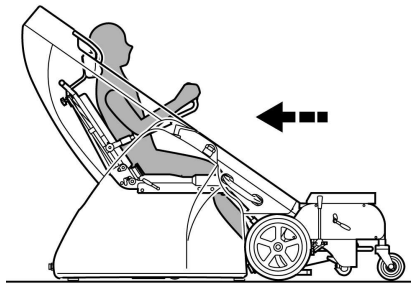



 注意	連結ガイドバンパは高さ調整してあります。高さがずれますと連結がうまくいかない場合がありますので、バンパを持つなどして位置をずらさないでください。
---	--

 注意	バスユニットのガイドレールとチェアユニットのガイドレールが水平で同じ高さを保っていることを確認してください。
---	--

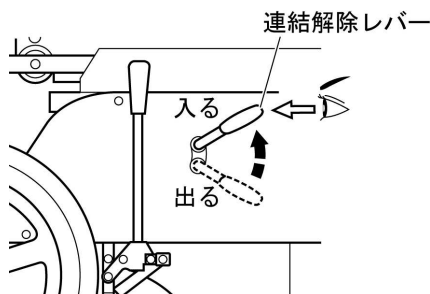
 注意	フットレストを必ず最上部位置まで持ち上げ、入浴者の手や足を挟み込まない安全な状態であることを確認してください。
---	---


- 4) 入浴者を浴槽へスライドさせます。
このときバスユニット側の一番奥までしっかりと押し込みます。





	<p>車輪フレーム部のロックおよび椅子部のロック解除をチェアユニットをバスユニットへ挿入する動作に連動して行える連結機構を採用しました。入浴者をチェアユニットからバスユニットへ移す作業が1ステップで、かつ安全に行えます。</p>
---	--

- 5) フットレストを浴槽底面まで下げて入浴者の前方へのスライドがロックされていることを確認します。



 注意	<p>チェアユニットをバスユニットへ挿入した後、連結解除レバーが「入る」側にあることを必ず確認してください。</p>
---	--

	<p>連結解除レバーは、バスユニットへの挿入を行うとき以外(チェアユニットのみでの使用時)は、「入る」側に操作できません。操作ミスによる車輪フレーム部と椅子部の分離事故を防ぎます。</p>
---	--

	<p>バスユニットの一番奥でフットレストを浴槽底面まで下げるとこの動きに連動して前方へのスライドがロックされる機構になっています。</p>
---	---

4. 入浴開始

1) 入浴者の身体が十分に安定している状態であることを確認してください。

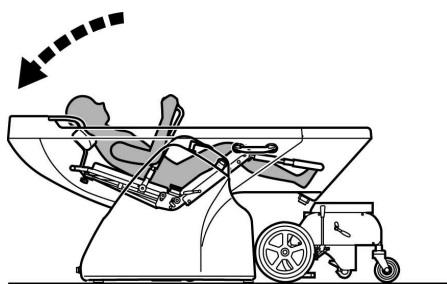
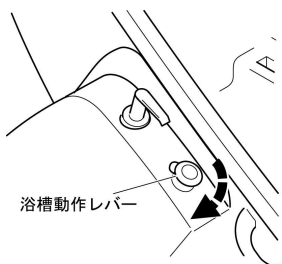
2) 入浴者をシャワーで洗います。



 警告	シャワーを使用する前や浴槽にお湯を給湯する前にお湯の温度を確認してください。火傷の恐れがあります。
 注意	入浴者の身体をシャワーで洗いはじめる前に排水口が開いていることを確認してください。
	ホースの長さが 2m ありますので、足の先端まで十分に洗うことができます。

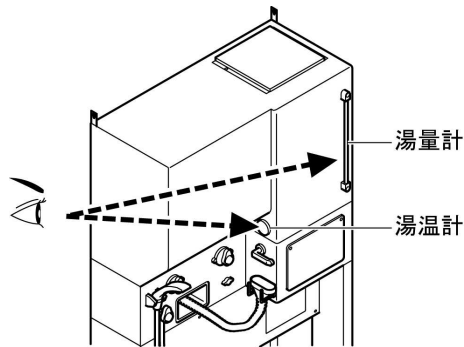
3) 浴槽動作レバーを「寝る」側（右回転）に回して、浴槽を入浴位置にローリングさせます。

浴槽が入浴位置になったら浴槽レバーを停止位置（中）に戻します。

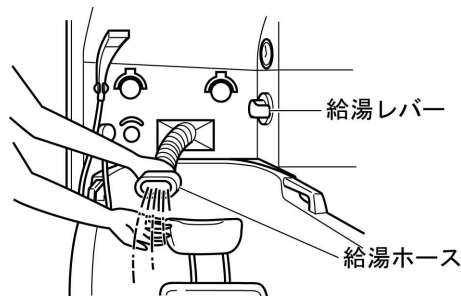


 注意	バスユニットのローリング操作は、常に入浴者の状態を確認して、入浴者を危険から守り、不快感を与えないように浴槽動作レバーでローリング速さを調整してください。
 注意	バスユニットのローリング操作は、周囲に人がいないことを確認してから行ってください。ローリング動作時は、浴槽および浴槽カバーから手を離してください。
 注意	浴槽のローリング動作がスムーズに動作しなくなったときは、水圧シリンダのエア抜きを行ってください。(P.30「水圧シリンダのエア抜きについて」参照)
	浴槽のローリング動作は、入浴者の状態に合わせて、浴槽動作レバーの回転角度で調整できます。

4) 貯湯タンクのお湯が入浴者に適温・適量であることを湯温計・湯量計で確認します。

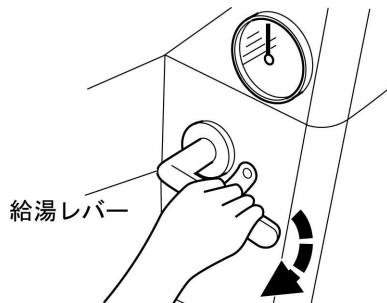


5) 給湯ホースを引出し、給湯レバーを少し開けます。介護者は自分の手のひらにお湯をあてて適温であることを確認します。



 警告	<p>シャワーを使用する前や浴槽にお湯を給湯する前にお湯の温度を確認してください。火傷の恐れがあります。</p>
--------	--

6) 入浴者に直接お湯がかからない安全な位置に給湯ホースをのばし、ゆっくりと給湯レバーを給湯側へ操作します。



 警告	<p>浴槽に給湯中は、わき見をしないでください。入浴者がおぼれる恐れがあります。</p>
--------	--

	<p>バスユニットへお湯が給湯されると、お湯が自動的に急速給湯ユニットの貯湯タンクへ貯湯されます。</p>
--	---

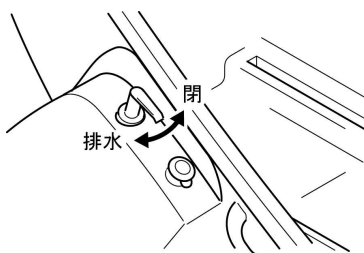
7) 入浴者が快適に入浴できる湯量（水位）にして入浴させます。

 注意	<p>シャワーヘッドを浴水中に沈めて使用しないで下さい。</p>
--------	----------------------------------

	<p>リラックスした姿勢で本格入浴が楽しめます。</p>
--	------------------------------

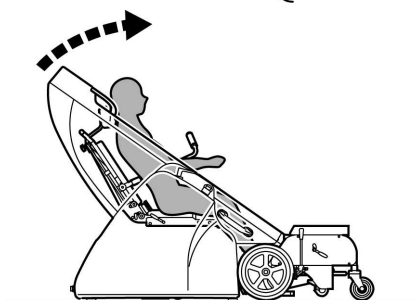
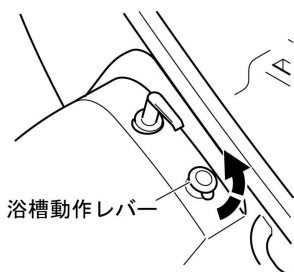
5. 入浴終了

- 1) 排水レバーを排水側へ操作して浴槽内のお湯を排水します。
排水完了後に排水レバーを「閉」側に戻します。



 注意	排水口から完全に排水が終了するまで、浴槽動作レバーを操作しないでください。
---------------	---------------------------------------

- 2) 浴槽動作レバーを「起る」側（左回転）に操作して浴槽をチェアユニットとの連結位置にローリングさせます。

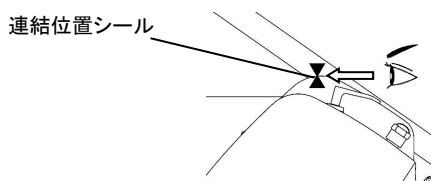


 注意	バスユニットのローリング操作は、常に入浴者の状態を確認して、入浴者を危険から守り、不快感を与えないように浴槽動作レバーでローリング速さを調整してください。
---------------	---

 注意	バスユニットのローリング操作は、周囲に人がいないことを確認してから行ってください。ローリング動作時は、浴槽および浴槽カバーから手を離してください。
---------------	---

※チェアユニットの連結方向へのローリング動作は、浴槽の回転支点より前方の重さを利用して行っています。
入浴者の体形、体格により、回転支点より後方の重さが前方の重さより重いと、ローリング動作をしない場合がありますが故障ではありません。
この場合、ハンドルを持つか、または浴槽縁上を手で押さえ補助を行うことでローリングさせることが可能となります。

- 3) 連結位置シールにて、浴槽が連結位置にあることを確認して下さい。
浴槽が連結位置になったら浴槽動作レバーを停止位置(中)に戻します。

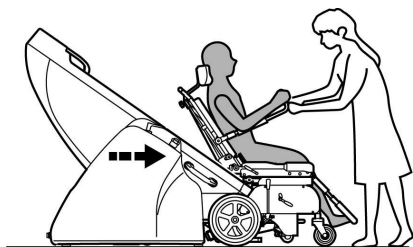


 警告	浴槽は必ず連結位置にして下さい。連結位置でない場合、チェアユニットを浴槽からスライドアウトさせる際、チェアがレールから外れる等の不慮の事態が発生する恐れがあります。
---------------	--

6. バスユニットとチェアユニットの連結解除

1) フットレストを最上部位置まで持ち上げます。

2) 入浴者の正面に立って、アームレストを持ち入浴者を浴槽からスライドアウトさせます。



注意

スライドチェアを引き出す作業は必ず、入浴者の正面に立った状態で行ってください。入浴者の側面で引き出す作業を行った場合、引き出しにくいだけでなく、不慮の事態に対応しづらくなってしまいます。



注意

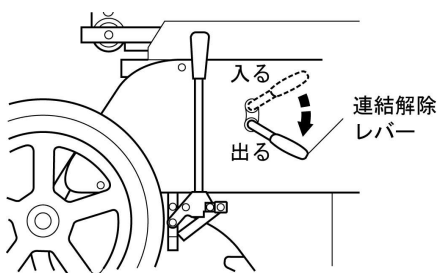
バスユニットのガイドレールとチェアユニットのガイドレールが水平で同じ高さを保っていることを確認してください。



注意

フットレストを必ず最上部位置まで持ち上げ、入浴者の手や足を挟み込まない安全な状態であることを確認してください。

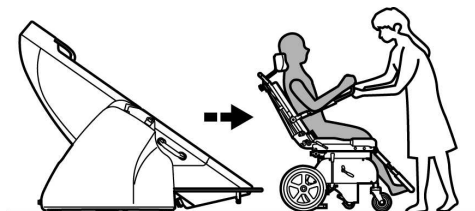
3) 入浴者が車輪フレーム部の突き当たりで止まる位置まで完全にスライドアウトしたことを確認した後、連結解除レバーを「出る」側へ操作してバスユニットとチェアユニットの連結を解除します。



注意

連結解除レバーは、手でゆっくり確実に「出る」側に押し下げてください。

4) 入浴者の正面に立ってバスユニットからチェアユニットを引き出し、分離させます。

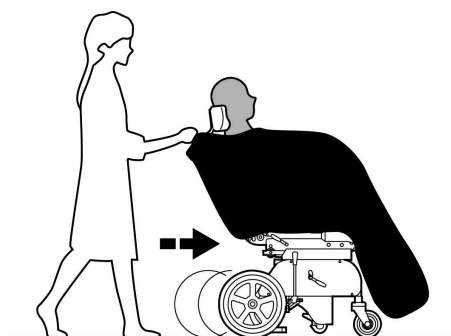



注意


入浴後には、入浴者とチェアユニットを拭いてください。移動時に、廊下に水滴が落ちないように十分注意してください。


7. 部屋への移動とベッドへの移し変え


1) チェアユニットのハンドルを持ち、入浴者を部屋へ移動させます。



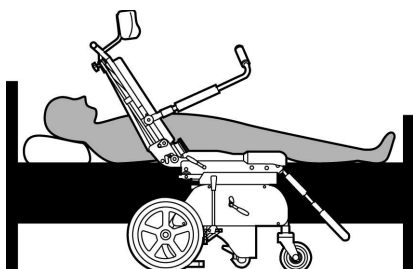
 警告	チェアユニットでの移動時はわき見をしないでください。衝突・転落事故が発生する恐れがあります。
---	--


 警告	チェアユニットで移動する場合は、入浴者にシートベルトを必ず着用してください。入浴者の転落につながる恐れがあります。
---	---

 注意	チェアユニットでの移動中は、アームレストを持ち、肘をアームレストの内側に収めるよう入浴者に指導してください。
---	--

 注意	入浴者をチェアユニットで移動させる場合は、入浴者の状態に合わせて適切な介護者数で入浴者の安全を確保してください。
--	--

2) 入浴者をチェアユニットからベッドへ移し替えます。



 注意	入浴者をチェアユニットからベッドへ移し替える場合は、入浴者の状態に合わせて、適切な介護者数で、入浴者の安全を確保してください。
---	---

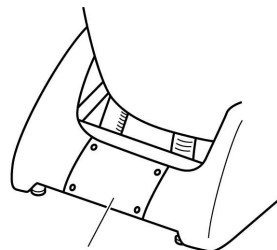
③ご使用後に

本製品をご使用になられた後には、必ず下記のことを確認してください。

- ・ 長期間使用しない場合は急速給湯ユニットにお湯をためないでください。
- ・ 次回も快適に使用できるように各部に異常がないことを点検してください。
点検はP.31の「日常点検について」をご参照ください。
- ・ 本製品はいつも清潔な状態にしてください。
- ・ 本製品を清掃する場合は固く絞った布で拭いてください。
- ・ 浴室内の湿度を低下させるために十分に換気を行ってください。
- ・ 二次感染の恐れがある入浴者の使用後は、医師の指示に従い二次感染の恐れがないことを確認してから次の入浴者に使用してください。

④水圧シリンダのエア抜きについて

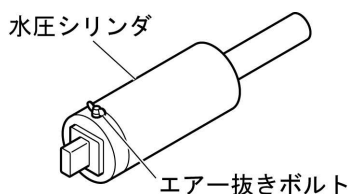
- 1) リヤカバーを固定しているネジ4本を外し、リヤカバーを外します。
(プラスドライバを使用)




リヤカバー

- 2) 浴槽がチェアユニットとの連結位置にあり、浴槽動作レバーが停止位置（中）にあることを確認します。

- 3) 水圧シリンダのエア抜きボルトを手でゆるめます。
このとき、エア抜きボルトは完全に外さないでください。



- 4) 浴槽動作レバーを「寝る」側（右回転）にすると、エア抜きボルトの隙間からエアが泡になって出ます。
泡が完全になくなり水が出ればエア抜きは完了です。
浴槽動作レバーを停止位置（中）に戻してください。

 <p>注意</p>	<p>バスユニットのローリング操作は、周囲に人がいないことを確認してから行ってください。ローリング動作時は、浴槽および浴槽カバーから手を離してください。</p>
---	--

- 5) エア抜きボルトを手でしっかり締め付けます。

- 6) 外したリヤカバーを元に戻します。

4. 日常点検について

正常に機能する状態を維持するために、日常点検は大変重要です。快適にご使用できるように各部に異常がないことを点検してください。

なお、操作中や点検中に故障・異常が発生した場合は速やかに使用を中止し修理を行ってください。

●バスユニット

- ・本体はアジャスタにより水平が調整されていますか？
- ・浴槽動作レバーの操作により、浴槽がスムーズにローリング動作しますか？
- ・連結ガイドバンパにゆがみ・ゆるみなどが発生していませんか？
- ・ガイドレールに異物、ゆがみなどはありませんか？
- ・排水レバーはスムーズに操作できますか？
- ・排水ホースに損傷はありませんか？また、床の排水溝に正しく挿入されていますか？
- ・水漏れ箇所はありませんか？

●チェアユニット

- ・タイヤロックは、確実に作動し固定できますか？
- ・スムーズな取り回しおよび走行ができますか？
- ・ヘッドレストクッションの調整ができますか？
- ・フットレストの角度調整ができますか？
- ・アームレストは固定ピンで固定できますか？
- ・クッション類は清潔に保たれていますか？
- ・シートベルトおよびフットベルトに“キズ”“ほつれ”などはありませんか？
- ・バスユニットへの連結・スライドは、スムーズにできますか？
- ・バックレストのリクライニング操作ができますか？

●急速給湯ユニット

- ・シャワー用温度調整ノブ、タンク用温度調整ノブを操作して温度調整ができますか？
- ・給湯レバーを閉めたときに、給湯ホースからのお湯が止まりますか？
- ・湯温計、湯量計は正しく作動しますか？
- ・その日の使用前に、必ず適温になったお湯を一度タンクに満たした後、すべて排水して、全機能が正常に作動することをご確認ください。
(P.17「ご使用前に」をご参照ください。)
- ・水漏れ箇所はありませんか？
- ・本体はアジャスタにより水平が調整され、しっかりとボルト（固定具）で壁面に固定されていますか？

●その他

- ・急速給湯ユニットのストレーナに内蔵されているフィルタの点検・清掃は3ヵ月毎に行ってください。また、貯湯時間が以前に比べ長くなったと感じたときに行ってください。
フィルタに破損が見られたり、付着したゴミの清掃が不可能な場合は交換を行ってください。
- ・急速給湯ユニット、バスユニットおよびチェアユニットは、絶対に解体や改造をしないでください。
- ・常に清潔に保つようにし、定期的に殺菌・消毒を行ってください。
※チェアユニットの各クッション類および浴槽の加熱消毒は行わないでください。

5. おかしいなと思ったら

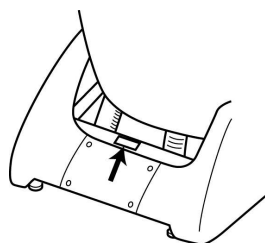
本製品を使用中におかしいなと思われた場合は、症状を確認していただき、お買い上げいただいた販売会社へお問い合わせください。

	症状	原因（例）	対策
急速給湯ユニット	貯湯タンクに給湯されない。	<ul style="list-style-type: none"> 一次側の給水・給湯バルブが開いていない。 貯湯ノブが「開」側へ操作されていない。 	<ul style="list-style-type: none"> 一次側の給水・給湯バルブを開く。 貯湯ノブを「開」側へ操作する。
	オーバーフローホースからの排水が止まらない。	<ul style="list-style-type: none"> 貯湯タンク内のボールタップの調整が狂っている。 貯湯タンク内のボールタップのパッキンが摩耗している。 	<ul style="list-style-type: none"> ボールタップの調整を行う。 パッキンを交換する
	貯湯タンクへの給湯温度が調整できない。	<ul style="list-style-type: none"> 施設内の給湯設備が停止している。 貯湯タンク用温度調整バルブ内にゴミなどが混入している。またはその他の故障。 湯温計が故障している。 	<ul style="list-style-type: none"> 給湯設備を確認する。 混入したゴミなどを除去する。または部品交換をする。 湯温計を交換する。
	シャワーの温度が調整できない。	<ul style="list-style-type: none"> 施設内の給湯設備が停止している。 シャワー用温度調整バルブ内にゴミなどが混入している。またはその他の故障。 	<ul style="list-style-type: none"> 給湯設備を確認する。 混入したゴミなどを除去する。または部品交換をする。
	給湯温度が一定しない。	<ul style="list-style-type: none"> 一次側の給水・給湯圧力の変動が大きい。 温度調整バルブが故障している。 ストレーナが目詰まりをしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 圧力の変動を抑える処置を行う。 部品交換をする。 ストレーナを清掃する。
バスユニット	浴槽が入浴位置方向へローリング動作しない。	<ul style="list-style-type: none"> 一次側の給水バルブが開いていない。 一次側の給水圧力が規定圧力より低い。 浴槽動作バルブが故障している。 水圧シリンダのパッキンが摩耗している。 水圧シリンダのエア抜きボルトが緩んでいる。 	<ul style="list-style-type: none"> 一次側の給水バルブを開く。 一次側の給水圧力が規定圧力となるように処置をする。 (規定圧力：0.15～0.30MPa) 部品交換をする。 パッキン交換をする。 エア抜きボルトを締め付ける。
	浴槽が連結位置方向へローリング動作しない。	<ul style="list-style-type: none"> 浴槽動作バルブが故障している。 	<ul style="list-style-type: none"> 部品交換をする。
	浴槽を停止位置で保持できない。	<ul style="list-style-type: none"> 浴槽動作バルブが故障している。 水圧シリンダのパッキンが摩耗している。 チャッキ弁内にゴミなどが混入している。 	<ul style="list-style-type: none"> 部品交換をする。 パッキン交換をする。 混入したゴミなどを除去する。
	浴槽動作レバーの操作がスムーズにできない。	<ul style="list-style-type: none"> 浴槽動作バルブが故障している。 浴槽動作バルブ内にゴミなどが混入している。 	<ul style="list-style-type: none"> 部品交換をする。 混入したゴミなどを除去する。
	排水レバーの操作がスムーズにできない。	<ul style="list-style-type: none"> 排水バルブが故障している。 排水バルブ内にゴミなどが混入している。 	<ul style="list-style-type: none"> 部品交換をする。 混入したゴミなどを除去する。
	排水が止まらない。	<ul style="list-style-type: none"> 排水バルブが故障している。 排水バルブ内にゴミなどが混入している。 	<ul style="list-style-type: none"> 部品交換をする。 混入したゴミなどを除去する。

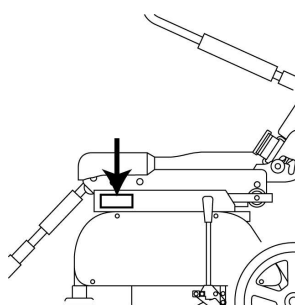
	症状	原因（例）	対策
チェアユニット	バスユニットに連結できない。	<ul style="list-style-type: none"> ・連結機構部に曲がり・破損などの故障がある。 ・連結ガイドバンパに曲がり・破損などの故障がある。 ・連結ガイドバンパの位置調整が狂っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・部品交換をする。 ・部品交換をする。 ・連結ガイドバンパの位置を調整する。
	ヘッドレストの高さが保持できない。	<ul style="list-style-type: none"> ・高さ調整ネジが破損および紛失している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・部品交換をする。
	リクライニングレバーが操作できない。	<ul style="list-style-type: none"> ・リクライニングレバーが曲がっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・部品交換をする。
	フットレストの角度解除操作ができない。	<ul style="list-style-type: none"> ・角度解除機構に曲がり・破損などの故障がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・部品交換をする。
	バスユニットへのスライド動作がスムーズにできない。	<ul style="list-style-type: none"> ・バスユニットとの高さが合っていない。 ・ガイドレールに異物などがある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・バスユニットとの高さを調整する。 ・異物などを取り除く。
	スムーズに走行できない。	<ul style="list-style-type: none"> ・車輪に異物などが引っかかっている。 ・車輪が故障している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・異物などを取り除く。 ・部品交換をする。
	タイヤロックができない。	<ul style="list-style-type: none"> ・タイヤロックの位置調整が狂っている。 ・タイヤロックに曲がり・破損などの故障がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・タイヤロックの位置を調整する。 ・部品交換をする。

※ お問い合わせいただくときは必ず機番を確認してご連絡くださいますようお願いいたします。

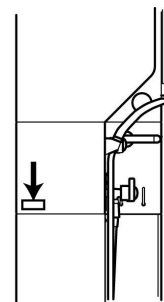
なお、機番の貼付位置は下図のとおりです。



バスユニット



チェアユニット



急速給湯ユニット

6. 商品保証規定

①保証規定

取扱説明書に従い正常な使用状態で保証期間内（納入後 1 年間）に故障した場合、弊社の責任において無償で欠陥部品の手直し、修理、取替え、交換部品の送付をさせていただきます。ただし、二次的に発生する損失の補償および下記の場合に該当する保証はいたしかねます。

- 1) 使用上の誤り、保守点検、保管の義務を怠ったために発生した故障および損傷。
- 2) 製品の作動機構に悪影響をおよぼす変更・改造を加え、それが原因で発生した故障および損傷。
- 3) 消耗品が損傷し、取替えを要する場合。（ヘッドレストセット・背部クッションマット・座部クッションマット・給湯ホース・排水ホース・シートベルトなど）
- 4) 火災・地震・風水害、その他天災地変など、外部に要因がある故障および損傷。
- 5) 指定された純正部品を使用しなかったことに起因する場合。
- 6) 日本国以外でご使用される場合。
- 7) 保証請求手続きに不備がある場合。（例：型式、機体番号の連絡がない場合など）
- 8) 設置に原因がある故障および損傷。

なお、本製品およびその付属品に使用されているゴム部品などのあらゆる自然消耗する部品、ならびに消耗品については保証の適用は除外させていただきます。

②保証請求方法

上記規定に基づき、本製品の保証請求を行う場合は、お買い上げいただきました販売会社までご連絡ください。販売会社にて必要な手続きをいたします。

なお、保証の要否はまことに勝手ながら弊社にて判定させていただきますのでご了承ください。

7. アフターサービスについて

①調子が悪いとき

まず、この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。それでも改善しない場合は、お買い上げいただいた販売会社へ修理を依頼してください。

②保証期間中の修理について

保証期間は納入後 1 年間です。商品保証規定の記載内容に基づいて修理させていただきます。

③保証期間後の修理について

お買い上げいただいた販売会社へご連絡ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有償で修理させていただきます。

④補修用性能部品の保有期間について

本製品の補修用性能部品の保管は、最低保有期間（製造打切り後 10 年間）です。（補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。）

⑤修理などのお問い合わせについて

型式、機体番号、購入年月日、故障状況（できるだけ詳細に）をお知らせください。下記の表に記入しておくとお問い合わせのときに便利です。

型 式	
機 体 番 号	バスユニットNo. チェアユニットNo. 急速給湯ユニットNo.
購 入 年 月 日	__ 年 __ 月 __ 日
販 売 会 社 名	社名： 担当者： 住所： 電話：() -
設 置 業 者	社名： 担当者： 住所： 電話：() -
故 障 日	__ 年 __ 月 __ 日
故 障 状 況	

⑥その他のアフターサービスについて

その他ご不明な点はお買い上げいただいた販売会社へお問い合わせください。

8. 移設について

本製品の移設は、お買い上げいただいた販売会社へご依頼ください。

9. 保守点検契約について

本製品の保証期間は1年間となっておりますが、保証期間を過ぎても安全に永くお使いいただくために、保守点検契約を実施いたしております。

保守点検契約とは本製品を定期的に点検し、故障などを未然に防ぐためのものです。この件に関しましてご質問などがございましたら弊社までお問い合わせいただきますようお願い申し上げます。



販売会社、または施工業者の方への**お願い**
この取扱説明書は、必ずお客様にお渡ししてください。



<http://bishamon.co.jp> E-mail:sales@bishamon.co.jp

〒444-1394 本社 愛知県高浜市本郷町4丁目3番地21 tel.0566-53-1126 fax.0566-53-1844

〒146-0083 東京 東京都大田区千鳥2丁目2番12号 tel.03-3759-9722 fax.03-3759-9723

〒537-0002 大阪 大阪府大阪市東成区深江南2丁目3番22号 tel.06-6747-7617 fax.06-6747-7618

その他営業拠点 仙台・前橋・広島・福岡

OM-W-B21 2301⑤0401-S